

東京緑山岳会・創立 80 周年祝賀会に出席して



期 日 2019 年（令和）元年 7 月 7 日（日）14:00～

場 所 ホテル・メルパルク東京（港区芝公園）

出 席 福沢 金井 杉本 河本 石川 5 名

参加山岳団体 東京雲稜会 雲表倶楽部 ベルニナ山岳会 好山会 日本岳友会 JCC

日本山岳・スポーツ協会 明峰山岳会 雪と岩の会 横須賀山岳会 G 登攀クラブ

龍鳳登高会 稜朋会 玲峰グループ ACC-J 東京朝霧山岳会 独標登高会

日本プロレスキュー協会 本郷岳友会（順不動）100 名近く

司会の入澤さんの威勢の良い「東西東西」の掛け声により祝賀会の幕が開かれた。

続いて黙祷「8 年前に亡くなられた先代寺田甲子男さんをはじめとして、古谷さん、小俣さんなど
その他山岳関係者の方々のご冥福を祈って 1 分間の黙とうを行う。

曾山代表の挨拶、寺田会長から跡を引き継いで若手の育成など苦勞してきたが、前会長の偉大さをつくづく感じている。登山の多様化によって、ラインなどの連絡により活動しているが、昔の様に顔と顔を突き合
わして激論、喧嘩しながらも、納得行く山行計画を構築して行って欲しい
との心情を吐露していた。



曾山代表の挨拶

思い出が残る備品等が寄付されている、当時の登攀道具、千住緑町に掲げて会った緑山岳会の看板名やシャフトの短いピッケルなど貴重な品でもある。又一度見学に来てほしい。80 周年おめでとうございます。

来賓挨拶 日本山岳・スポーツクライミング協会八木原罔明会長

群馬の山田昇氏の偲ぶ会、谷川岳の山開きを終えて参上した。

東京緑山岳会の名は、中学、高校時代から知っていた。遭難者救助遺体搬出などのプロ的集団として名を馳せていた時代も承知している。

寺田会長からは、土合の登山口に作った山岳博物館に寄贈された多くの



八木原会長・祝辞挨拶



祝辞・神長さん（山と溪谷社）

親交を温め、昔の話や現在の状況について語り合っていた。
宴の途中からは、特別な催しとして、雲倶楽部の松本龍雄氏により、墨痕鮮やかに東京緑山岳会創立 80 周年を祝して『緑の山・谷川岳』『酒生夢死』の記念の書を書くイベントが催された。
松本さんは、尊敬する寺田甲子男さんに対して、魂を込めて書いたと仰っていたその思いが強く印象に残った。



祝辞を述べる武藤さん（東京雲稜会）

歓談後、東京緑山岳会が、作詞した『一の倉ズンドコ節』を会員と参加者全員で合唱して盛り上げ、
閉会の言葉は、川田克己氏の御礼の言葉があり、締めは、東京雲稜会の穂苅勲夫さんが自分の生まれが回向院・吉良邸の近くに住み、緑町とも近く、縁山岳会とも縁を感じるとして、本来なら古谷辰二さんが三本締めを行ったでしようが、僭越ですが私から三本締めで締めさせていただきますと、出席者全員で伝統の三本締めを行いお開きとなった。さすが、伝統ある東京緑山岳会の大変有意義な楽しい祝賀会であった。

二次会は、同じホテルの1階に有るレストラン「フォンテン・ド芝」で開催され、多くの参加者で話したりない友人たちとの交流を深めていた。

私ごとだが、この席で 27 年振りに佐藤仁さんの奥様に再会したのは、まさに驚きでもあった。昔、成田 E X の車内の中で、前にお座りになったご婦人が、緑のドクロマークの入ったサブザックを棚の上にあげるところで話しかけたら、佐藤仁さんの家内ですと仰って、話が弾み丁度、成田からヨーロッパへ行く処だと言っていたのがきっかけであり、再会に一段と話が盛り上がりお元気なご様子に安心した楽しい時間を過ごすことが出来た。

祝辞・山と溪谷社 神長幹雄氏 緑山岳会の歴史は登攀界の歴史と言っても過言ではないでしょう。編集部にもいろいろと苦情、注文も受けたが、すべてが日本の登山界を思っの事であったと思う。寺田さんの強い思いは、良きも悪しきもみんな飲み込んで大きな存在であった。80 周年を心からお祝い致します。

乾杯は、ベルニナ山岳会の渡辺代表の一際大きな声で出席者並びに各会の発展、家族の健康を祝して乾杯した。

そして祝宴に入り、参加者各自が



乾杯の音頭は渡辺氏（ベルニナ）

この席で名誉会員の表彰が行われ、入沢清さんが第 16 番目の名誉会員として推挙表彰された。

緑山岳会 80 年の歴史の中で 900 人近くの会員が在籍した、その中でたったの 16 人という表彰は、大変重みがあり、単に代表、チーフリーダーだけでなく、会運営に貢献したものでしか表彰されない、大変重みのある表彰で、山岳会のマーク髑髏の金バッチが贈呈された。ちなみに 18 金の無垢のバッチであるとのこと、24 金は柔らかすぎて制作がむずかしいとのことで、18 金で制作しているとのことだった。

続いて曾山代表が寺田会長亡きあと、緑を支えてきた功労に対して表彰を受けていた。ご苦労様でした。



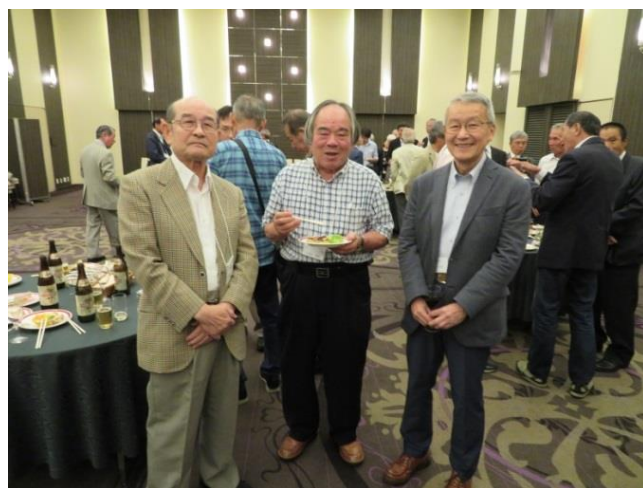
渡辺、日高、岡本神奈川県岳連会長



司会の入沢さん、左に多久和氏右に佐藤仁さん



金井、杉本 河本 杉本、尾山(ベル)福沢のメンバー



寺倉（明峰）八木原（JMSCA 会長）神長(山溪)の三氏



松本龍雄氏(雲表倶楽部)と佐藤仁さん



横田正利氏(日本岳友会)を中心に



東京雲稜会の皆さん



松本龍雄さんが書かれた書



墨痕鮮やかに書をしたためる松本さん



右から前田(雲稜会)、尾山(ベル)の皆さんと、



小島氏(ベル)を中に高品さん、白田さん(龍鳳会)



左から堤、金子、藤田の3氏



渡辺、日高の両氏と



創立八十周年の携額と松本さんの書



岸、岡本両氏を中心にベルニナの面々



名誉会員の表彰を受けた入沢さん(右)



河田さんから功労者表彰を受けた曾山代表



三本締め穂苅さん(東京雲稜会)



会員が作詞した 『一ノ倉ズンドコ節』 を合唱する東京緑山岳会の方々



佐藤仁さんご夫妻と



岸順之氏(神奈川新聞社)と佐藤仁さん
東京緑山岳会の先輩と後輩



藤田氏(G登攀)クラブ)、日高氏 (ベルニナ) と